
サングラスの下

遠美 見

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

サン格拉斯の下

【コード】

N6992K

【作者名】

遠美 見

【あらすじ】

フレデリカはヤン提督のずり落ちそうになっているサン格拉斯を直そうとした。すると・・・

(前書き)

ヤン提督とフレデリカの恋愛未満のときのお話。

ヤン提督は、時々サングラスをかける。

よく似合っている・・・とフレデリカは思う。いつものヤン提督も大好きだけど、サングラスをかけたヤン提督はちょっと渋くて素敵だと思う。

ある日、司令官室に入ると、提督はサングラスをかけたままうたた寝をしていた。サングラスがずれて今にも落ちそうになっている。

どうしよう・・・お直したほうがいいのかしら・・・。でも、もし目を覚まされたら？ 何をしている、ときかれたらどうしよう・・・、提督のお顔に触れてみたかったなんていったら提督は呆れるでしょうね・・・。

ヤンが少し身じろぎして、サングラスはさらに傾いた。

ああ・・・いいわよね、落ちたら危ないからよ、ただそれだけよ。

フレデリカはそっと起こさないようにヤンのサングラスをはずした。その下では赤くはれぼったくなったまぶたが閉じられていた。

明らかに泣いたあとだった。

フレデリカはあわててサングラスをかけなおして司令官室を出た。

あの優しい瞳の中に、たくさんの悲しみがある。

いつか私の前で思い切り泣かせてあげたい・・・と思った。

END

(後書き)

ヤン提督は案外泣き虫さんだと思います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6992k/>

サングラスの下

2010年10月8日22時18分発行